

近未来就職選選

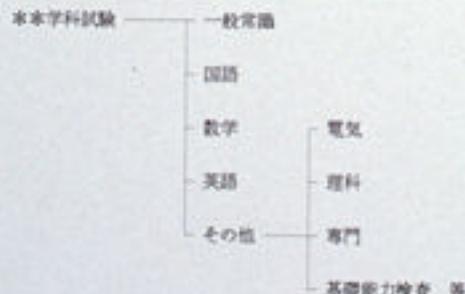
コンセプト

最近の就職試験内容は、筆記試験と面接と書類審査で決めている。この方法では、個人の技術や能力が、わからないのではないかと思う。そのため、企業側も採用者を選択するのが結構難しくなっていると思う。そこで、私達はこれらの問題を、少しでも減らしていくために、いろいろな就職試験方法を考えてみました。

その結果、企業側も採用する人物を特定しやすくなるし、また私達もきっと、自分達の能力にあった職に就けることにもなるのではないでしょうか。



現在の就職試験方法

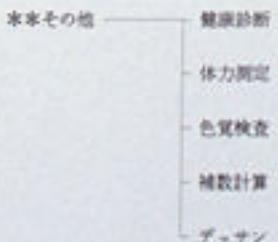


■本作文

※その他では、書類選考を行なう所もある。



■本適性検査



近未来就職選択

私達は、いろいろな企業でアンケートをとり、その結果をまとめてみました。

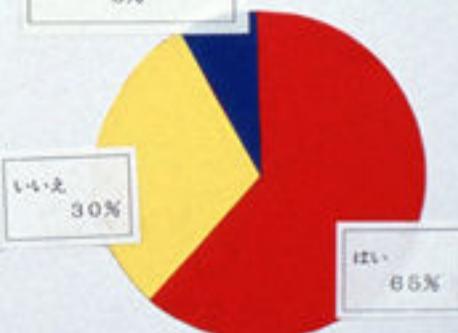
アンケート内容は、

- 1・どのような人材を求めてますか。
- 2・今の就職試験の仕方でいいと思いますか。
- 3・(いいえと答えた人のみ答えて下さい) それはなぜですか。

アンケート結果

どちらともいえない
5%

「今就職試験に迷っている」



「おいたり難い仕事」

- 前向きに取り組む人
- 想像性のある人
- 素直な人
- 明るい人
- 真面目な人
- やる気のある人
- よく働く人
- 個性豊かな人
- 元気な人
- 協調性のある人
- 一般常識のある人
- 責任感のある人
- 誠実な人
- 時間を守る人
- 一生懸命な人
- 欠席少ない人
- 長続きする人
- 明確回答な人
- 整序な人
- 活発に活動する人

「いいと書いたのはまだない状況」

- 面接の時間を長くしてほしい
- 専門知識に関する試験を増やす
- 本人の才能を認める
- 学歴で決めない
- 仕事が好きかどうかもわからない
- 筆記試験を重視すべきである
- 頼が良くても、その試験の時だけきちんとしていればかかるというのには、おかしいと思う
- 人間性がわからない
- 外見だけで判断しているから

近未来就職選選

新就職試験方法改造案

アンケートの結果、私は新しい就職試験方法を考えました。

オーディション法

労働



事務



体力が必要な職業に就きたいなら、腕立て伏せや荷物運びで、自分の体力を、企業の人達にみてもらう。

事務に関する職業に就きたいなら、コンピューターで正確にどれだけ早く、うちこめるかなどを競ってみせる。

接客



販売などをする場合、詮詰めや、正しい言葉づかい、大きな声でいきつができるかを競ってみせる。

製造



製造の職業に就きたい場合、流れ作業や、協調性があるかを見られる。だから、どれだけ早く正確に、みんなと一緒に協力してできるかを企業の人見てもらう。

近未来就職選選

体験入社



1ヶ月ぐらいの期間で、自分の行きたい会社に体験入社をしてみる。そうすれば、本当にその職業が自分に合っているかどうかがわかるし、体験入社をせずに入社して、後々後悔するよりいいと思った。

まとめ

考えた結果、この新しい就職試験方法で行なうと、企業側からみれば、自分の仕事の内容に合った人物が分かりやすいと思うし、体験入社を行なうと、試験を受ける側たらみれば、その会社が本当に自分に合っているか、合っていないかが分かると思う。

